

社会医学系専門医制度(JBPHSM)ZENHO通信(No.20)

令和4年8月16日発行
全国保健所長会

新型コロナウイルス感染症の第7波への対応で、みなさん忙しくされていると思います。新型コロナ対策で保健所というか保健所医師がマスクミ等で取り上げられることが多くなったこともあり、公衆衛生分野に興味をもつ医学生や医師が増えているようです。新しくこの分野に入ってきた医師のためにも、社会医学系専門医制度を充実発展させていきたいと思っていますので、今後ともよろしくお願いします。

「ZENHOとはなんですか？」という質問を、この分野に入られたばかりの方から聞かれました。そのため、毎年度最初のZENHO通信では説明することにいたします。ZENHOとは、全国保健所長会の略である「ぜんほ」のローマ字表記になっています。ちなみに先月創刊された「ZRENHO-R」のRは理事会のローマ字表記の頭文字です。こちらの通信とは別の目的のものとなります。

今回は、専門医と指導医の更新手続きの最新情報と、東北ブロックで開催された指導医講習会の実施報告をお届けします。

1. 社会医学系専門医と指導医の更新手続きについて

更新申請についてですが、社会医学系専門医協会ホームページの「お知らせ」の6月30日に、「【2022年度版】専門医・指導医の更新について（更新手続き・今後のスケジュールのご案内）」が掲載されていますが、ポイントをお知らせします。

1. 更新手続きの時期ですが、更新書類の提出期間は、2022年10月1日～11月30日です。

2. 更新の1年延長を希望される方へ

(1) 2023年3月31日までに延長届を、社会医学系専門医協会事務局まで郵送で提出してください。

(2) 延長届を提出された方が更新の申請を行う際に、1年間の延長につき、審査料を2,000円増額します。更新延長届提出時の審査料の振込は不要です。

(3) 更新期間の延長は1年単位で、上限は3年までです。

3. 更新申請に必要な書類

指導医用申請書類などは提出に必要ですが、**K単位やG単位の受講証明書の提出は不要になりました。**ただし、審査の過程で申告内容について疑義が生じた場合、担当委員会が受講証明書などの全部又は一部の提出を求めることがありますので、書類は更新手続きが終了するまで、大切に保管してください。

詳しく知りたい方は協会のホームページで確認してください。

(<http://shakai-senmon-i.umin.jp/news/2527/>)

2. ブロック別指導医講習会の実施報告

東北ブロック：令和4年6月23日開催

(講師・記録：山田敬子 山形県置賜保健所長)

新型コロナウイルス感染症の第6波が下火になりつつ、大嵐となった第7波の直前という絶妙のタイミングで、「社会医学系専門医協会指導医講習会（東北ブロック）」が令和4年6月23日に開催されました。オンライン（Zoom）による福島県主催の「保健所連携推進会議（東北ブロック）」のランチョンセミナーのひとつ、受講者は19名でしたが、講師を担当させていただきましたので、この場をお借りしてご報告いたします。

実は、ご依頼を受けた際、昨年度の指導医更新もギリギリまで粘ってやっと通していただいた私が講師？？？と思ったのですが、前任の福島県・小谷先生が主催側であることから担当が困難とのことで、腹をくくって！？お引き受けしたところです。

さて事前には、講演用のスライドを前もって送っていただけるとお聞きしていたので（いつもギリギリまで宿題を片付けない悪い癖があり）高をくくっていたところ、100枚近い資料を前にフリーズしてしまいました。そこで、お声がけくださった北海道の山本先生に急遽ご相談し「アレンジして良い」とのご了解を得られましたので、1時間の講演で分かりやすくお伝えするための工夫から必死に取り組み始めました。具体的には①タイトルフォントを大きく同じ大きさに揃える②お話のポイントを「社会医学系専門医制度とは？」「研修の概要」「専門医研修の流れ」「更新について」「協会HPのご紹介」の4つに分け最初に提示③自分が苦勞した点などを織り交ぜてお伝えする ことを心がけました。スライドは約半分の48枚までカットし、詳細はHPを参照していただくことにしました。

いただいた資料のうち『社会医学系専門医制度のねらいとして、「個の力も、システムの力も」次第に向上させていくことが主目的である』というスライドについては、山形県の研修プログラム管理委員会の委員を担当させていただいている実体験から、特に強調してお伝えしました。他県も同様と思いますが、社会医学系専門医制度を維持管理するために、各種の研修会を積極的に開催することや、前記の委員会等で議論を重ねること自体が、システムを向上させ、より良い社会医学系専門医の養成につながっている…専門医・指導医の更新手続きが非常に複雑であるわけが、やっと少し理解できた気がします。

新型コロナウイルスの流行下にある中、約半数の方々が更新延長を申請されているようです。第7波で刻々と時間が過ぎ、更新が今年も難しくなっているかもしれませんが、さらなる延長も可能ですので、決してあきらめることなくチャレンジしていただきたいと思います。

最後に、拙い説明ではありましたが、参加の皆様、ご清聴ありがとうございました。また、貴重な機会を与えてくださいました、北海道渡島総合振興局 山本長史先生に心から感謝を申し上げます。

発行責任者：山本長史（公衆衛生医師の確保と育成に関する委員会委員長）